

社会福祉法人つむぎ福社会

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2020 年10月1日～ 2021 年3月31日)



作成日： 2021/5/20
更新日： 2021/10/6

目 次

| 項 目 | ページ |
|---------------------------------------|-----|
| ごあいさつ | 3 |
| 環境経営方針 | 3 |
| 組織の概要 | 4 |
| 事業・製品の紹介 | 4 |
| 環境経営組織図及び役割・責任・権限表 | 5 |
| 主な環境負荷の実績 | 6 |
| 環境経営目標及びその実績 | 6 |
| 環境経営計画の取組結果とその評価 | 8 |
| 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無 | 11 |
| 外部からの環境上の苦情・要請等 | 11 |
| 代表者による全体の評価と見直し・指示 | 11 |



つむぎ福祉会は、設立20周年を迎えます。「笑顔とびかうまちづくり」をスローガンにして、高齢者も、子どもたちも、青年も、障がい者も、地域に暮らすすべての人の幸せを願って、設立しました。異なった分野の力を合わせて、地域の困りごとを力を合わせて解決していくことをめざし、20年間で、障がい者、児童、ひきこもり支援への地域のニーズに応えるために事業を拡大してきました。地域も平野区、東住吉区から西区、東大阪市へと範囲を広げ、利用者数も当初の20名から、障がい者（324名）保育（114名）青年（15名）となりました。昨年は、SDGs研修にも取り組み、SDGsの掲げる一人も取り残さないという精神は、法人理念にも通ずるものがあり、SDGsをもっと身近に、自分事として考え、法人職員ひとり一人がそれぞれの仕事を通して、SDGsに取り組んでいくことが、厳しい福祉職場の中で、常に視座を高く持つための原動力になるのではないかと考えました。その第一歩として、エコアクション21に取り組み、身近な限りある資源を大切に、未来の世代に豊かな環境を残すために、一人ひとりが行動を変えていきたいと思えます。また、私たちは、「対話」を何よりも大切に考え、「対話」を通して、すべての問題の解決を図っていき、「対話実践」を社会に広げていくことが、だれ一人残さない社会の実現に寄与するものと考えます。



環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、「すべての人が地域の中で人としてあたりまえに生活し活動できる社会を実現する」ために、障がいを持った利用者、職員ともに、生産活動や障がい者の社会参加と通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

障がい者が行う、生産活動によって、安全で安心していただける製品をお客様に提供することが当法人の一番の環境対策と考えて、利用者職員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力、ガス、自動車燃料を、創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 障がいを持った人々とともに、生産活動（パン製造販売と受注作業）を通して、食品リサイクルに心がけ、環境保全の取り組みに努めます。
4. 障がいを持った人の社会参加活動（地域清掃などの地域活動）を通して、地域の方とともに環境保全に努めます。
5. 節水、雨水の再利用などに努めます。
6. 事業所から排出される一般廃棄物の削減に努めます。

制定日：2020年10月1日



理事長 石井 守

(1) 名称及び代表者名
 社会福祉法人つむぎ福祉会
 理事長 石井 守

(2) 所在地
 本部・生活支援センターコットン 大阪府大阪市東住吉区田辺6-4-1
 ポンチセびりか 大阪府大阪市東住吉区今川4-10-3
 びりか工場 大阪府大阪市東住吉区今川4-8-16
 第2びりか作業所 大阪府大阪市東住吉区今川4-17-23
 つむぎハウス 大阪府大阪市東住吉区住道矢田9-5-3
 そらまめ作業所 大阪府大阪市平野区长吉川辺1-1-19
 東大阪事業所 大阪府東大阪市高井田元町2-4-6 岸田興産ビル
 ポプラ保育園 大阪種大阪市西区京町堀2-1-19
 千代崎ポプラ保育園 大阪府大阪市西区千代崎1-11-7

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 専務理事 中谷路子 TEL：06-6625-8253
 担当者 本部・コットン 柴田哲也 TEL：06-6626-1810
 ポンチセびりか 才治俊博 TEL：06-6708-8341
 びりか工場 岸本幸司 TEL：06-6708-8345
 第2びりか作業所 藤原清喬 TEL：06-6708-6566
 そらまめ作業所 田中茂治 TEL：06-6708-6339
 つむぎハウス 山本真吾 TEL：06-6760-7711
 東大阪事業所 石田泰二 TEL：06-6787-2008

(4) 事業内容
 障がい者福祉サービス事業、パン製造販売による就労移行支援、若者サポートステーション事業、保育園運営

(5) 事業の規模
 売上高 5.9 億円

| | 本部・コットン | ポンチセびりか | びりか工場 | 第2びりか作業所 | つむぎハウス |
|----------------------|---------|---------|-------|----------|---------|
| 従業員 名 | 20 (10) | 6 (8) | 2 (1) | 5 (0) | 10 (12) |
| 延べ床面積 m ² | 566 | 429 | 137 | 132 | 850 |

| | そらまめ作業所 | 東大阪事業所 | ポプラ保育園 | 千代崎ポプラ保育園 | 合計 |
|----------------------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 従業員 名 | 11 (12) | 8 (8) | 15 (6) | 15 (7) | 92 (64) |
| 延べ床面積 m ² | 443 | 360 | 311 | 712 | 3940 |

※従業員は正規社員（ ）内はパートなど非正規社員

(6) 事業年度 4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 社会福祉法人つむぎ福祉会
 対象事業所 本部・生活支援センターコットン
 ポンチセびりか
 びりか工場
 第2びりか作業所
 つむぎハウス
 そらまめ作業所
 東大阪事業所
 対象範囲従業員 正規社員 62人 非正規社員 51人（常勤換算）
 対象外： ポプラ保育園 2023年までに認証取得予定
 千代崎ポプラ保育園
 活動： 障がい者福祉サービス事業、パン製造販売による就労移行支援、若者サポートステーション事業
 対象外： 保育園運営

□各サイトの事業の紹介

主に障がいをもった方が、住み慣れた地域で生活し続けることを目的にして活動しています。ライフサイクルに応じて、365日24時間、安心安全な生活を送ること・働き甲斐をもって働くこと・余暇活動を楽しむことを支援しています。



パン製造販売



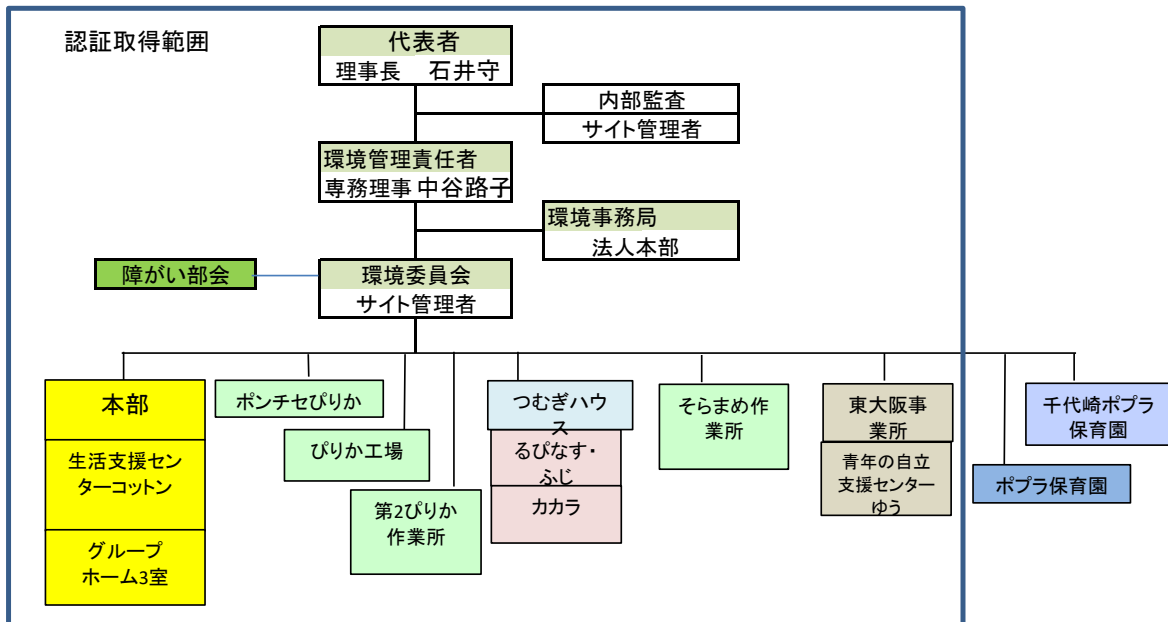
受注作業



余暇活動



農作業



| | 役割・責任・権限 |
|----------|---|
| 代表者(理事長) | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付) |
| 内部監査 | <ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の実施 代表者への報告 |
| 環境委員会 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価 |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 環境に関する内部監査の実施・報告 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

□主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2019年度 | 2020年度 (年間実績) | 2020年※ (下期6か月分) |
|-----------|--------------------|---------|------------------|--------------------|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 171,435 | 169,484 | 84,531 |
| 廃棄物排出量 | | | | |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 28,440 | 26,148 | 13,098 |
| 産業廃棄物排出量 | kg | 0 | 0 | 0 |
| 食品廃棄物 | | | | |
| 発生量 | kg | 49 | 49 | 25 |
| 発生抑制量 | | 226 | 201 | 100 |
| 再生利用量 | | 0 | 0 | 0 |
| 熱回収量 | | 0 | 0 | 0 |
| 減少量 | | 0 | 0 | 0 |
| 再生利用以外の量 | | 0 | 0 | 0 |
| 廃棄物処理量 | | 49 | 49 | 25 |
| 食品再資源化実施率 | % | 82% | 80% | 80% |
| 総排水量 | m ³ | 7,966 | 7,601 | 3,835 |

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 関西電力会社の2018年度調整後の係数

※産業廃棄物は発生しておりません。

※2020年は10月～3月までのデータです。

□環境経営目標及びその実績

| 項目 | 年度 | 基準値 | 2020年度 | | 評価 | 2021年度 | 2022年度 | |
|------------------------|--------------------|--------------|------------|------------------|----|---------|---------|--|
| | | (基準年) | 上段 (目標) | 年間 下段 (実績) | | (目標) | (目標) | |
| | | | 6か月分 | | | | | |
| 電力による二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 111,011 | 108,791 | 105,337 | | 106,570 | 105,460 | |
| | kg-CO ₂ | 51,959 | 50,920 | 50,416 | ○ | | | |
| | 基準年度比 | 2019年 | 98% | 97% | | 96% | 95% | |
| 都市ガスによる二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 27,754 | 27,199 | 23,598 | | 26,644 | 26,366 | |
| | kg-CO ₂ | 14,878 | 14,581 | 11,316 | ○ | | | |
| | 基準年度比 | 2019年 | 98% | 76% | | 96% | 95% | |
| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | kg-CO ₂ | 32,670 | 32,016 | 40,549 | | 31,690 | 31,363 | |
| | kg-CO ₂ | 15,299 | 14,993 | 22,799 | × | | | |
| | 基準年度比 | 2019年 | 98% | 149% | | 97% | 96% | |
| 上記二酸化炭素排出量合計 (6か月間) | kg-CO ₂ | 82,137 | 80,494 | 84,531 | × | 164,904 | 163,190 | |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 28,440 | 27,018 | 26,148 | | 26,449 | 25,596 | |
| | kg | 14,220 | 13,509 | 13,098 | ○ | | | |
| | 基準年度比 | 2019年 | 95% | 92% | | 93% | 90% | |
| 食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上 | 自主目標 | | 50% | 80% | ○ | 51% | 52% | |
| | 食リ法目標 | | 46% | | ○ | 46% | 48% | |
| 水道水の削減 | m ³ | 7,966 | 7,807 | 7,601 | | 7,329 | 7,169 | |
| | m ³ | 3,928 | 3,849 | 3,835 | ○ | | | |
| | 基準年度比 | 2019年 | 98% | 98% | | 92% | 90% | |
| 環境保全を意識した生産活動を行う | | 行動目標 (次項による) | | | | | | |
| 地域との共生とボランティア活動 | | 行動目標 (次項による) | | | | | | |

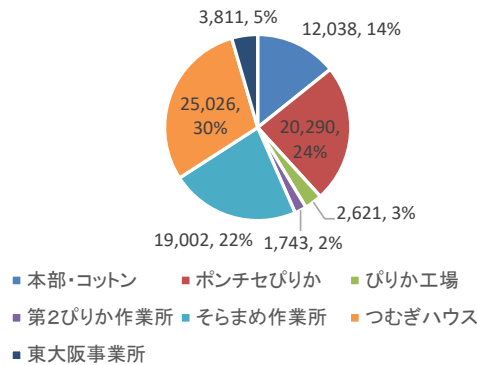
※化学物質は使用しておりません。

サイト別負荷実績

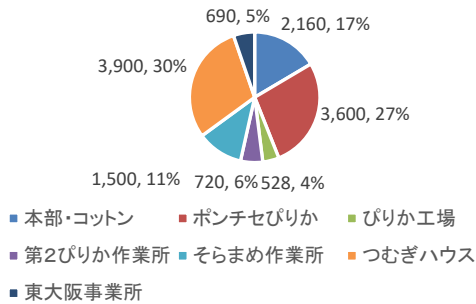
| | | 本部・コットン | ポンチセぴりか | ぴりか工場 | 第2ぴりか作業所 | そらまめ作業所 |
|----------|----------------|---------|---------|-------|----------|---------|
| 電力使用量 | kwh | 23,355 | 37,407 | 7,847 | 5,219 | 25,011 |
| 都市ガス使用量 | m ³ | 1,448 | 1,260 | 0 | 0 | 765 |
| ガソリン使用量 | L | 478 | 2,187 | 0 | 0 | 3,878 |
| 軽油使用量 | L | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO2 | 12,038 | 20,290 | 2,621 | 1,743 | 19,002 |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 2,160 | 3,600 | 528 | 720 | 1,500 |
| 水道使用量 | m ³ | 795 | 506 | 156 | 0 | 520 |

| | | つむぎハウス | 東大阪事業所 | | 合計 |
|----------|----------------|--------|--------|--|---------|
| 電力使用量 | kwh | 42,269 | 9,838 | | 150,946 |
| 都市ガス使用量 | m ³ | 1,757 | 9 | | 5,239 |
| ガソリン使用量 | L | 2,658 | 218 | | 9,419 |
| 軽油使用量 | L | 367 | 0 | | 367 |
| 二酸化炭素排出量 | kg-CO2 | 25,026 | 3,811 | | 84,531 |
| 一般廃棄物排出量 | kg | 3,900 | 690 | | 13,098 |
| 水道使用量 | m ³ | 1,782 | 76 | | 3,835 |

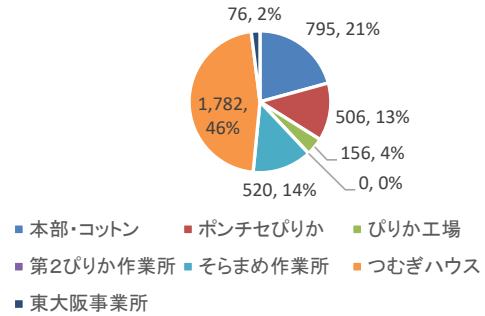
二酸化炭素排出量 kg-CO2



一般廃棄物排出量 kg



水道使用量 m³

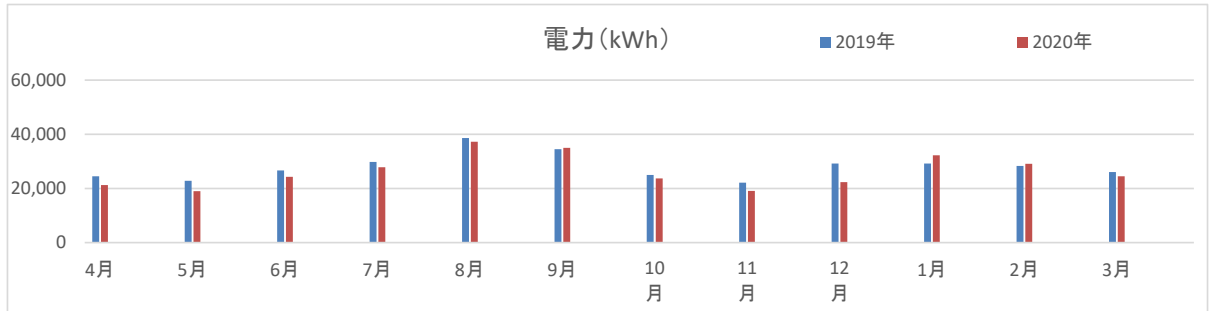


環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

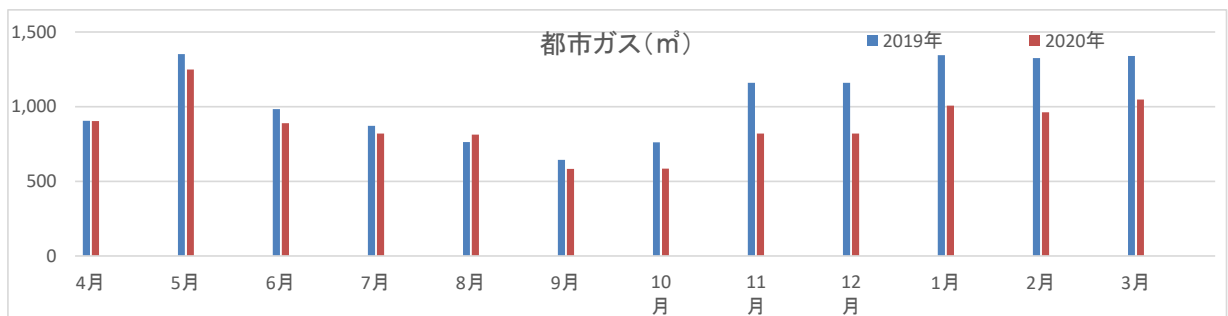
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取組み計画 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|------------------------|------|--|
| 電力による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
| 数値目標 | ○ | 【6か月総括】 |
| ・空調温度の適正化(冷房27℃ 暖房20℃) | ○ | 取組みとして、空調温度の適正化に取り組み、温度湿度をチェックすることはできた。 |
| ・不要照明の消灯 | ○ | 【年間総括】 |
| ・スイッチ付きコンセント使用 | △ | 冷房27℃、暖房20℃と決めて表示すること、室温をこまめにチェックすること、スイッチ付きのコンセントを導入し、待機電力を削減することに取り組み、職員が意識するようになった。施設ごとにばらつきはあるが、引き続き電力量の削減に取り組む。 |
| | | |
| | | |



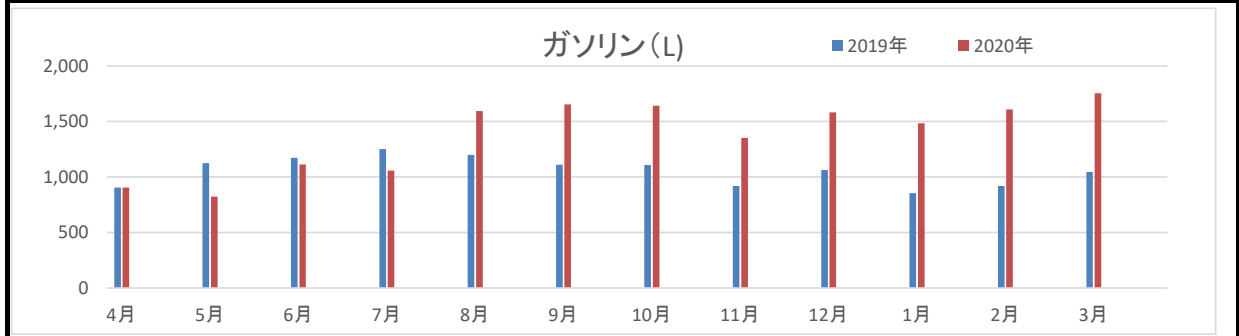
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2019年 | 24,476 | 22,819 | 26,615 | 29,794 | 38,620 | 34,478 | 24,949 | 22,162 | 29,163 | 29,163 | 28,364 | 26,087 |
| 2020年 | 21,211 | 18,952 | 24,267 | 27,833 | 37,210 | 34,962 | 23,667 | 19,080 | 22,371 | 32,281 | 29,058 | 24,489 |

| 取組み計画 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|-----------------------|------|--|
| 都市ガスによる二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
| 数値目標 | ○ | 【6か月総括】 |
| ・温水温度の適正化(風呂40℃、その他) | ○ | 温水温度の適正化から開始。ただし、施設による運用のばらつきに気が付いた。 |
| ・浴槽のお湯の量を調整し、削減する | △ | 【年間総括】 |
| | | 施設によってばらつきがあり、コロナ禍で利用が減少したことの影響も大きいと思う。継続して、適正な温度管理に取り組んで行く。風呂の湯量についても、検討していく。 |
| | | |

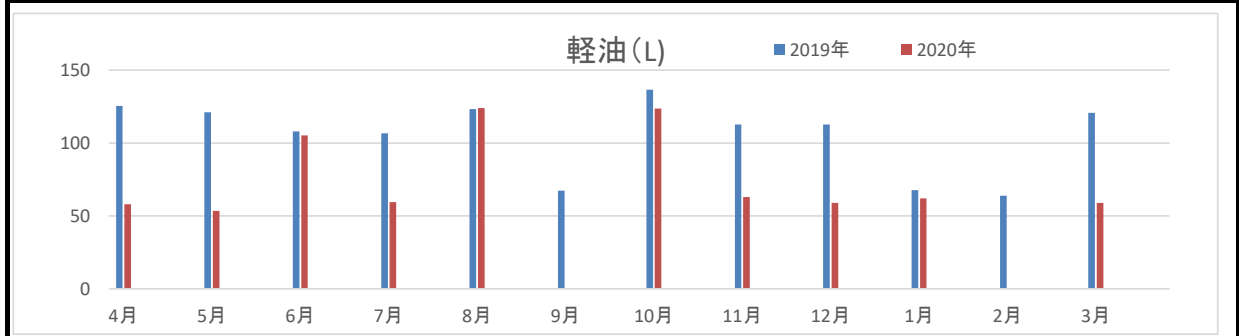


| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2019年 | 906 | 1,351 | 983 | 872 | 763 | 643 | 761 | 1,159 | 1,159 | 1,344 | 1,325 | 1,340 |
| 2020年 | 904 | 1,248 | 889 | 819 | 813 | 583 | 585 | 820 | 820 | 1,007 | 963 | 1,048 |

| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|---------------------|------|--|
| 数値目標 | × | 【6か月総括】 |
| ・アイドリングストップ、エコドライブの | ○ | 安全運転には配慮しているが、エコドライブ10の説明を実施。 |
| ・自転車の利用推進 | ○ | 【年間総括】 |
| | | 送迎が増えたことが原因と考えられる。引き続き、エコドライブ10を 実践するよう、安全運転講習会で、周知徹底を行う。 |

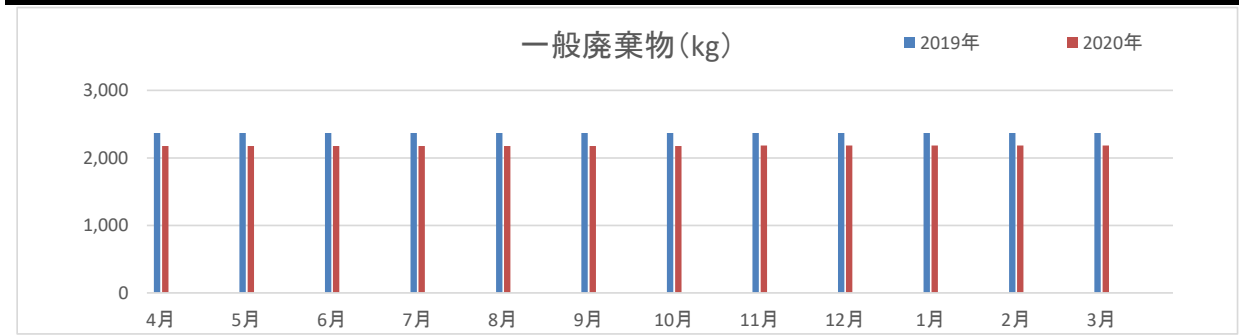


| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2019年 | 906 | 1,125 | 1,172 | 1,252 | 1,198 | 1,110 | 1,108 | 920 | 1,063 | 855 | 920 | 1,046 |
| 2020年 | 904 | 823 | 1,112 | 1,058 | 1,594 | 1,653 | 1,641 | 1,352 | 1,581 | 1,483 | 1,609 | 1,754 |



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 2019年 | 125 | 121 | 108 | 107 | 123 | 67 | 137 | 113 | 113 | 68 | 64 | 121 |
| 2020年 | 58 | 53 | 105 | 60 | 124 | 0 | 124 | 63 | 59 | 62 | 0 | 59 |

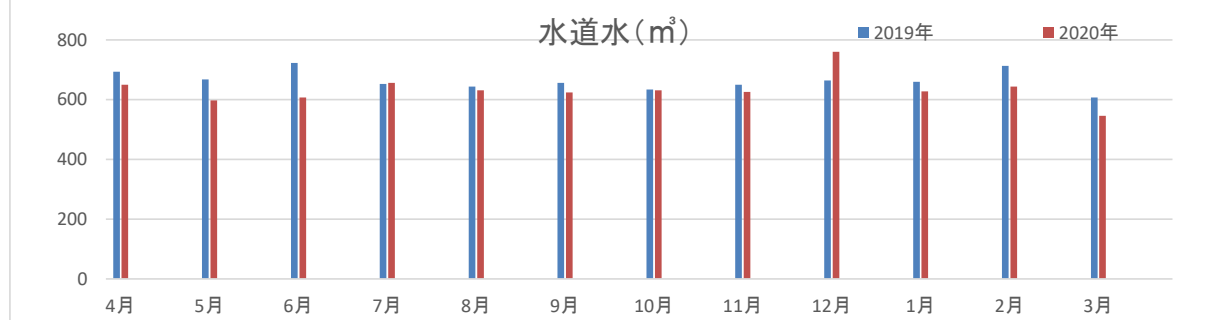
| 一般廃棄物の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|-----------------|------|---|
| 数値目標 | ○ | 【6か月総括】 |
| ・分別の徹底 | ○ | オンライン会議で、手元資料の印刷が増えているので、分別意識強化に努めていく。 |
| ・印刷ミスを減らす 裏紙の利用 | ○ | 【年間総括】 |
| ・梱包材の再利用 | △ | 分別に対する意識は少しずつできつつある。自分の行動が、ごみの削減につながっていることを意識して、一人ひとりの行動を変えてもらう。印刷物を減らし、ごみそのものを削減するように工夫していく。 |



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2019年 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 | 2,370 |
| 2020年 | 2,175 | 2,175 | 2,175 | 2,175 | 2,175 | 2,175 | 2,175 | 2,183 | 2,185 | 2,185 | 2,185 | 2,185 |

| 食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|---------------------|------|---------------------------------|
| 数値目標 | ○ | 【6か月総括】 |
| ・原材料発注量の精度アップ | ○ | 従来より、食品ロスに取り組んできたが、意識の強化に努めている。 |
| ・加工ロスの削減 | ○ | 【年間総括】 |
| ・分別の徹底 | ○ | 引き続き、ロスのない製造販売を意識していく。 |
| | | |

| 水道水の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|--------------------|------|------------------------------------|
| 数値目標 | ○ | 【6か月総括】 |
| ・節水シールの貼り付けとポスター掲示 | ○ | 節水シールなどの表示を行い、意識の強化を図っている |
| ・洗浄時の流しっぱなしをしない | ○ | 【年間総括】 |
| ・風呂の湯量を減らす | × | 引き続き、節水を意識していく。合わせて、節水弁の取り付けも検討する。 |



| | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 2019年 | 694 | 668 | 723 | 653 | 644 | 656 | 634 | 650 | 664 | 660 | 713 | 607 |
| 2020年 | 650 | 598 | 607 | 656 | 631 | 624 | 631 | 626 | 760 | 628 | 644 | 546 |

| 環境保全を意識した生産活動を行う | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|-----------------------------|------|--|
| ・不良率低減 | ○ | 【6か月総括】 |
| ・稼働率向上 | ○ | 作業所の整理整頓を意識し、不良率の低減に取り組むことができた。 |
| ・顧客クレーム削減 | ○ | 【年間総括】 |
| ・受注先の確保 | ○ | どの事業所も不良品の減少、稼働率の向上に取り組み、コロナ禍にあっても受注作業が大きく減少することはなかった。 |
| ・利用者とともに農作業を行うことで地域との交流を深める | ○ | |

| 地域との共生とボランティア活動 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画 |
|-----------------|------|--|
| 情報発信 | ○ | 【6か月総括・年間総括】 |
| 地域清掃 | ○ | 地域のイベントは、ほぼ中止となったが、施設周辺の清掃や施設でのパン販売には取り組むことができた。ニュースやホームページでの情報発信も継続できた。引き続き取り組んでいく。 |
| 地域のイベントへの参加 | × | |
| | | |

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 適用される法規制 | 適用される事項 (施設・物質・事業活動等) | 本部・ コットン | ポンチセ びりか | びりか工 場 | 第2びり か作業所 | そらまめ 作業所 | つむぎハ ウス | 東大阪事 業所 |
|----------|--------------------------|-------------|-------------|-----------|--------------|-------------|------------|------------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 食品リサイクル法 | 食品廃棄物 | | ○ | | | ○ | | |
| フロン排出抑制法 | 業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 食品衛生法 | HACCPに沿った衛生管理の義務 | | ○ | | | ○ | | |
| 顧客要求事項 | コロナ対応・個人情報保護 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

苦情は発生していません。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2021年5月20日

| 【前回の指示への取組結果】 | | | |
|---|---|--|--|
| <情 報> | | <見直し・指示> | |
| ◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) 全事業がコロナ禍にあっても活動を続けることを求められ、感染防止対策の強化が必須である。地球温暖化の問題は切実で、日常的な取り組みが求められている。 | ➡ | ◇環境方針 コロナ禍にあつて、感染防止強化に努めながら、利用者が働きがいや生きがいをもって暮らすことを考えて事業を進めていく。地球温暖化を止めるためには、一人ひとりの意識を変えることが必要であるので、環境問題を我が事として考えるような取り組みを行う。 | |
| ◇環境経営目標・計画の達成状況 全体の把握をすることができたことにとどまっておらず、電気他の使用量の削減には至っていない。目標達成には、全員の意識を高める取り組みが必要である。 | | ◇環境経営目標・環境経営計画 取り組み始めたばかりであるので、継続して全社で環境保全の意識をもって取り組んでいく。 | |
| ◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等 特になし | | ◇実施体制他 特に問題なく、引き続き実施していく。 | |
| 【6か月総括】 取組が始まったところであり、全社的な取り組みになっていない。一人一人が自分事として節電や節水に取り組むことが、法人内にとどまらず、地域やもっと広い社会の役に立つことになると確信している。 | | | |
| 【年間総括】 地球温暖化問題や異常気象が叫ばれる中、社会福祉法人の立場でエコアクション21にいち早く取り組むことは、法人としても価値のあることであると思う。目の前の業務にだけ目を向けるのではなく、広い視野をもって活動することが大切である。環境保全の取り組みは、地道な取り組みであるが、これを継続することで、SDGsの目標達成に繋がっていることを意識して高い視座をもって取り組んでいきたい。視野を広く、視座を高くすることで、福祉の仕事に志す人たちの働きがいや仕事の価値に繋がっていくと思う。 | | | |

- | | | |
|-----------|--|--|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと |
| 実施体制他 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |